



お知らせ

記者発表資料	令和4年3月30日
配布日時	14:00

【同時発表先】

中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞

令和4年度 入札・契約制度等に関する説明会（港湾空港関係）を開催します

中国地方整備局 港湾空港部では、入札・契約手続きの透明性・公平性の確保、技術力が十分に発揮できる競争環境の確保及び手続きにおける受発注者双方の負担軽減を図ること等を目的として、令和4年度より、入札・契約制度の一部を見直すこととしました。

つきましては、以下のとおり、入札・契約制度等に関する説明会（オンライン形式によるWEB説明会）を開催しますのでお知らせします。

1 工事に関する説明会

日時：令和4年4月12日（火）10:30～12:00

- 内容：①令和3年度 入札・契約状況について
②令和4年度 入札・契約の対応方針について
③令和4年度 事業実施における取組みについて
④質疑応答

2 業務に関する説明会

日時：令和4年4月12日（火）14:00～14:45

- 内容：①令和3年度 入札・契約状況について
②令和4年度 入札・契約の対応方針について
③令和4年度 事業実施における取組みについて
④質疑応答

なお、説明会用資料は、中国地方整備局港湾空港部インターネットホームページ

(<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/keiyaku/hinshitsu.html>) に令和4年3月31日（木）より随時掲載する予定です。

【申込み方法】別紙のとおり。

【主な見直し内容】別添（参考1～4）のとおり。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 品質確保室 TEL:082-511-3927(直通)(平日・昼間)

室長 安達 崇
課長補佐 久保 知徳



本説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び参加者の移動負担軽減の観点から、WEB 会議システム（Microsoft Teams）を使用したオンライン形式にて開催いたします。

申込み方法：本説明会に参加を希望される方は、以下の必要事項を記載のうえ、電子メールにてお申し込みください。

必要事項：入札・契約制度に関する説明会（港湾空港関係）への参加を希望する旨

- ① 所属
- ② 氏名（ふりがな）（1 アカウントで複数の方が視聴する場合は代表者）
- ③ 連絡先（電話番号及びメールアドレス）
- ④ （1 アカウントで複数の方が視聴する場合のみ）視聴予定人数
- ⑤ 参加希望の説明会（1. 工事、2. 業務）

※①②：WEB 視聴時に、参加者名を入力して頂く際に、使用予定です。

※③：WEB 視聴用の URL の連絡に使用します。

申し込み宛先：pa.cgr-setsumeikai@mlit.go.jp

申込期限：令和4年4月8日（金）12：00まで

参加方法：上記の必要事項③で記載いただいた電子メールアドレス宛に事務局より、電子メールにて WEB 視聴用の URL をご連絡します。

WEB 視聴時には、上記①と②を入力して、ご参加頂く予定です。

詳細は、上記 URL の送付時に、ご連絡します。

備考：通信状況によって、一時的な映像や音声の乱れが発生する場合があります。また、通信の負担軽減のため、同じ所属の方はなるべく1アカウントで複数の方がご視聴いただきますようお願いいたします。なお、応募アカウント多数の場合には、先着順で参加者を制限させていただく場合がありますので、予めご了承ください。



令和4年度 入札・契約制度に関する説明会
(港湾空港関係：工事)

日時：令和4年4月12日（火） 10:30～12:00

場所：WEB開催

議事次第

(案)

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明会
 - (1) 令和3年度 入札・契約状況（工事）について
 - (2) 令和4年度 入札・契約の対応方針（工事）について
 - (3) 令和4年度 港湾整備事業実施における取組（工事）について
4. 質疑応答
5. 閉会



令和4年度 入札・契約制度に関する説明会 (港湾空港関係：業務)

日時：令和4年4月12日（火）14:00～14:45

場所：WEB開催

議事次第

(案)

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明会
 - (1) 令和3年度 入札・契約状況（業務）について
 - (2) 令和4年度 入札・契約の対応方針（業務）について
 - (3) 令和4年度 港湾整備事業実施における取組（業務）について
4. 質疑応答
5. 閉会



令和4年度 入札・契約の対応方針について (港湾空港関係)

(工事)

◆総合評価落札方式における評価の改善に向けた取組み

1. 地元企業活用促進型の配点の見直し【見直し】

地場産業の育成、地域経済の活性化に向けて高い誘導効果が認められる。一方、災害への備え等の取組を推進するため配点を一部見直して引き続き試行する。

2. チャレンジ型における競争性の改善【見直し】

総合評価落札方式においては、過去の工事成績評定点や表彰実績の評価を通じて、適正な品質を確保していくことが重要である一方、競争性をさらに向上させるため、受注実績の少ない企業の参加意欲を引き出せるよう、チャレンジ型について、より競争性を高めるため、評価項目、配点等の一部見直して引き続き試行する。

3. 地元作業船の活用を促進する取組み（地元作業船活用評価型）【新規】

大規模災害時の航路啓開・応急復旧作業を担う作業船の保有・維持を促進するため、地域の安全・安心を担う地元企業が所有する船舶を当該工事に使用する場合に評価する「地元作業船活用評価型」を試行する。

4. 技術的な工夫の余地が小さい工事における技術提案負担の軽減【新規】

技術提案を評価している工事のうち単一工種の工事等技術的な工夫の余地が小さい工事については、技術提案の僅差化が生じるとともに、働き方改革への対応のため技術提案書の作成にかかる負担軽減への対応が必要な状況。

このため、技術提案評価型S型を適用していた技術的難易度Ⅲの工事のうち、技術的な工夫の余地が小さい工事について、簡易な施工計画を加点評価する施工能力評価型I型（施工計画重視型）の適用を試行する。

5. 技術提案・簡易な施工計画の文字数制限緩和【見直し】

技術提案・簡易な施工計画の様式への記載文字数の制限について、半角文字2文字を全角1文字として扱うよう文字数制限を緩和する。

6. 技術提案等に係る提出様式番号の統一【見直し】

技術提案等の様式番号を統一するとともに、最新様式が判別できるように様式Verを明示する。



(業務)

◆プロポーザル方式及び総合評価落札方式における評価方法の改善に向けた取り組み

1. 技術提案等の採点方法の改善【見直し】

プロポーザル方式及び総合評価落札方式における技術提案等の評価について、プロポーザル方式及び総合評価落札方式において、各評価者の評価結果を多数決方式で最終評価していたところ、各評価者の評価結果（素点）を平均（小数2位四捨五入で小数1位にまるめ）する方法に見直しを行う。

2. 専門的な資格の評価の見直し【見直し】

資格要件として評価する技術者資格と専門的な資格について、これまでは評価対象の専門的な資格のみでの申請でも技術者資格と専門的な資格の両方で加点評価していたが、全国的な運用状況を踏まえ、同一資格のみでの申請については、専門的な資格の加点対象としないこととして評価を行う。

◆入札・契約手続きの改善に向けた取り組み

1. 価格競争方式における若手技術者の登用促進【新規】

若手技術者（40歳未満）の育成支援を目的として、経験が乏しい若手技術者を予定管理技術者として配置する場合に、経験の豊富な技術者（管理補助技術者）を担当技術者として配置することにより技術の伝承を図るための取り組みとして、価格競争方式における配置予定技術者の参加要件に適用することで、若手技術者の登用を促進する。